指定管理施設の管理運営状況のまとめ（令和2年度分）

施設名　　松江市鹿島マリーナ
指定管理者　鹿島マリーナ株式会社
担当課　　河川課
指定期間　平成30年4月1日～令和5年3月31日

1．総合評価

市	A	【優れていると評価した点】 ・施設周辺水域の定期的な巡視による漂流物の回収や、施設内の清掃・環境美化活動などを実施し、河川及び施設の美化に努め、年間を通じての施設内における事故や苦情等のトラブルもなかった。 【評価できない、または改善すべき点】 ・施設が老朽化していることから、設備の不具合による事故等を防止するため、更なる点検と必要に応じた修繕を求める。

指定管理者	A	【優れていると評価した点】 ・安全を第一に適切な施設管理ができた。 ・海底清掃を実施し、水域施設の安全を保つことができた。 ・航路を確保する為、サービス桟橋にオイルフェンスを設置し、漂流物の侵入を防ぐことができた。 ・契約者以外の同船者のマナー（駐車、水道利用等）については、「契約者優先」とし秩序を保つことができた。 【評価できない、または改善すべき点】 ・浮き桟橋のポールの構造物が破損している箇所があり、今後、修繕を行う予定。

2．施設利用の増減について

総括	施設利用については、微減しているものの現段階においては良好であり、黒字で推移している。また、施設の維持に必要な修繕も行っており、過度に支出を抑えている様子もない。 今後は新規利用者の獲得が課題となる。

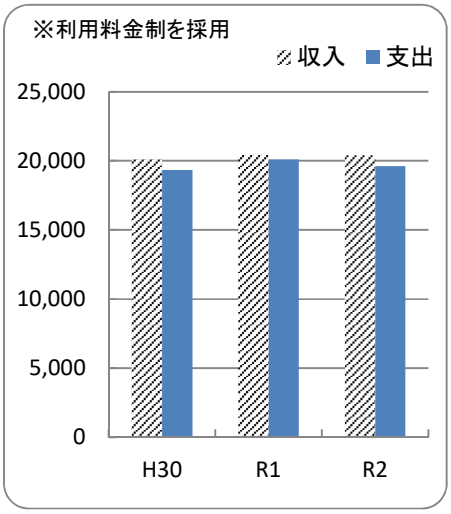
（1）収支状況の推移　（自主事業を除く）

（千円）

	項目＼年度	H29	H30	R1	R2
施設の収支	収入	19,827	20,094	20,417	20,401
	うち指定管理料	18,667	19,119	19,449	19,441
	うち利用料	—	—	—	—
	支出	19,015	19,342	20,095	19,614
	差引	812	752	322	787

上記以外の市の収入、支出

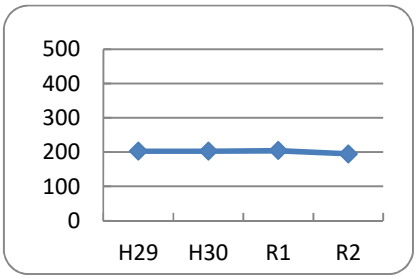
市の収支	収入（使用料）	22,845	22,849	22,271	22,191
	支出	1,160	975	1,000	960
	うち市の修繕費	0	0	0	0



（2）利用者の推移

（人）

H29	H30	R1	R2
203	203	204	195



【参考】産出指標（アウトプット）・成果指標（アウトカム）の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標（指標）を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標（指標）がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果（アウトプット）や活動からもたらされた成果（アウトカム）を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

A 基準値 ： 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
B 目標値 ： 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
C 実績値 ： 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	水域利用率	90	90	93	103.3%	103.3%
	使用者アンケート	70	70	91	130.0%	130.0%
アウトカム						
				達成度平均	116.7%	116.7%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 ・新規契約者の拡大に努めていきたい。 ・アンケート調査の結果を踏まえ、意見・要望に応えられるように努めたい。 ・引続き佐陀川の巡回パトロールを定期的に実施していく。	【達成度の原因・分析】 ・マリーナの建設目的でもあった佐陀川の不法係留対策についてはほぼ目的を達成したと考えるが、今後も引き続き対策に取り組んでいく。 ・使用者アンケートにおいても目標を上回っていることから、今後も広く意見・要望を集約し、利用者の新規獲得についてさらに力を入れて取り組んでいただきたい。

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
23	①満足している 11件(49 %) ②どちらともいえない 10件(42 %) ③満足していない 2件(9 %)	①良い ・特になし ②苦情 ・桟橋の鳥類等(カモ)の糞をどうにかしてほしい。 ③要望 ・マリーナ施設内(水域)係留場所の水深が浅い為、浚渫工事を行ってほしい。 ・施設内の駐車について、契約者を優先にしてほしい。

(4)住民サービス向上の事例

特になし

3. 自主事業

総括	管理棟に自動販売機を設置し、利用者に使っていただいている。 管理は設置者が行っており、指定管理者の業務を圧迫することはない。 台数は1台であり、事業として利益を上げるというよりは利用者の利便性の向上という意味合いが強い。
実施状況	令和2年度売上:267,340円

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

・1年を通して大過なく管理できた。
・利用者数はほぼ横ばいだが、R1からR2にかけて微減が確認できることから、今後は利用者の拡大が一つの目標となる。